

2022 年度 第 2 回 教育課程連携協議会 議事要旨

- 開催日時：2023 年 3 月 23 日（木）13 時 30 分～15 時 00 分
- 場 所：オンラインビデオ会議システムによる
- 出席者：山内理学療法学科長、山本副理事長兼学長補佐、辛島作業療法学科長
滋賀県健康医療福祉部 角野理事、滋賀県医師会 越智会長（委任状提出）
滋賀県理学療法士会 平岩会長、滋賀県作業療法士会 木岡会長
市立長浜病院リハビリテーション技術科 西村主幹（委任状提出）
滋賀県立リハビリテーションセンター 乙川主任主査
マキノ病院リハビリテーション科 杉原科長
- 陪席者：山川学長、垣尾キャンパス事務局長、中村センター長、岩崎センター長代理
丸山学生支援グループ長、吉田総務グループ係長
- 欠 席：山田学部長、東近江市地域包括支援センター 河島センター長

1. 議 事

① 学長挨拶

開催に先立ち学長より挨拶が行われた。

2022 年度 教育活動実施状況 報告

理学療法学科（以下「PT 学科」とする。）学科長 山内と作業療法学科（以下「OT」学科とする。）学科長 辛島より今年度前期の学生在籍状況及び学習状況、実習実施状況について報告が行われた

[PT 学科]

- ・ 2024 年度 入学予定者 88 名（定員 80 名）
- ・ 3 年生 40 名在籍（入学時より 4 名減）、2 年生 77 名在籍（入学時より 12 名減）
1 年生 76 名在籍（入学時より 7 名減）
- ・ 退学生抑制のため、チューター制を設け対応を行っているが、臨地実習において欠く傾向がある。更なる対応を強化していきたい。

- ・ 実習実施状況

1 年生…夏季に実施された見学実習Ⅰは新型コロナウイルス感染状況を鑑み、学内演習に切換えて実施。冬期に実施した見学実習Ⅱは全て学外の臨床実習施設で実施することができた。現在、ポートフォリオを作成し実習内容をまとめている所である。

2 年生…2024 年度 夏季に見学実習Ⅲを実施予定である。

3 年生…年度内に評価実習、総合臨床実習Ⅰを実施した。評価実習で1名不合格となったが、総合臨床実習Ⅰは全員合格することができた。

2024 年度 総合臨床実習Ⅱ実施に向けて、事前学習を行っていく予定である。

[OT 学科]

- ・ 2024 年度 入学予定者 18 名（定員 40 名）

- ・ 3 年生 10 名在籍（入学時より 4 名減）、2 年生 35 名在籍（入学時より 3 名減）

- 1 年生 27 名在籍（入学時より 1 名減）

- ・ 退学者は概ね前向きな進路変更を理由に退学しているが、学力不足も否めない。

出願者を増やし、本学の教育内容に耐えうる学生をセクションできるようにすることが理想である。厳しい状況ではあるが広報活動について検討を重ねて実施していきたい。

- ・ OT 学科では 2023 年度中の学外実習について、各実習施設のご協力により全て学外で実施することができた。また、全国に先駆けて臨床実習中における合理的配慮事項を定め、受け入れ先の実習施設に対応を求めた。結果、合理的配慮が必要な学生は総合臨床実習Ⅰが不合格とはなったものの、評価実習時より成長を認める事ができた。

② 2024 年度 新規カリキュラムについて

各学科より 2024 年度 新規カリキュラムの概要について説明が行われた。

[理学療法学科]

- ・ 基礎科目において「データサイエンス入門」を設け、数学・統計・科学を総合してベーシックな部分を学ばせ、同じく基礎科目の「生命科学」、「バイオメカニクス入門」の理解を深められるようにする。

また、「医学英語」を必修として医療に携わる者として必要な英語力をつけさせる。

- ・ 職業専門職科目については大きな変更は無い。

- ・ 展開科目において「ノーリフティングケア論」、「ウィメンズ・メンズヘルスケア論」を

新たに設けた。

〔OT 学科〕

- ・基礎科目については PT 学科と同様に改善を行った。

- ・職業専門科目については、旧カリキュラムにおいて内容の重複などがあったため、内容を精査し、カリキュラムをコンパクトにした。さらに教科書の分類に則した内容にすることで、学生が理解しやすいよう改善を図った。

- ・展開科目については、さらに多職種との連携が図れるよう「農福連携論」や「遊びの科学」といった科目を追加した。

〔言語聴覚療法学科（以下「ST 学科」とする）〕

ST 学科のカリキュラムについては、現在、指定規則の変更について審議されていることを踏まえ、指定規則の変更後も対応できるカリキュラム設定を行った。

2024 年 5 月に ST 学科設置の各種届出・申請を行う予定である。

臨床実習施設の確保が必要となってくるため、本日、参加いただいている委員の皆様にもご協力願いたい。

③ 2024 年度 学部名称変更等について

事務センターより、2024 年度に学部名称、各学科定員の変更を行うとの説明が行われた。

④ 各委員からの意見・報告・質問

〔平岩会長より〕

他の学校において、入学試験科目に生物が無く、身体の基礎知識がない学生が入学し、入学後の勉強の理解が出来ないとの話を聞いているが、貴学でも同じような状態であるのか、もしそうなのであれば対応をどうしているのか。

〔山内学科長より〕

本学においても高校在学中に生物を学ばず入学し、基礎医学系の授業で躓き退学に繋がってしまうケースが見受けられる。

そういった学生をフォローするため現行のチューター制をさらに強化していく予定である。

〔辛島学科長より〕

OT 学科では国試対策を利用し、作業療法士に必要な知識について興味を持たせるよう工夫して実践している。

〔平岩会長より〕

高度な知識や技能を習得するには基礎の積み重ねが重要だと考える。ついては、基礎力向上について配慮をお願いしたい。

〔杉原科長より〕

OT 学科の入学予定者が 18 名と低迷していることに驚いている。

湖西地域において中学・高校生に対して作業療法士に興味を持ってもらうため、説明会などを実施する予定である。2023 年 4 月には 2 校の中学校で実施予定である。

先般、貴学の OT・PT の実習生と他学の実習生も実習期間が重複し、4 人同時に実習生を受け入れることとなった。実習生同志団結して実習に挑む姿勢が見られた。

引き続き、実習生の配置においては思慮いただきたいと思う。

〔乙川主査より〕

各方面から地域を見据えたリハ職要請の声が出ている。

貴学では地域を見据えたカリキュラム内容や学習方法についてどうなっているのか教えて欲しい。

〔山内学科長より〕

カリキュラムの中に地域理学療法学や地域理学療法学実習がある。八日市のショッピングセンター アピアにおいて来客に自由に参加してもらい、体力測定や健康体操を学生が立案し実践した。

2023 年度には 4 年生が理学療法地域実習において地域に赴き実情や課題を知り、解決策を考えさせる予定である。

〔辛島学科長より〕

OT 学科においても見学程度ではあるが地域の実情を知る授業がある。

また、東近江市等と連携して実施するコンソーシアムにおいては学生が立案・実践して地域の高齢者と触れ合う機会を設けている。

〔木岡会長より〕

日本作業療法士協会の会合の中で、日本国内において外国籍の在住者が増加しており、貴学が新たに設ける予定の「医学英語」は非常に重要なものだと感じている。

滋賀県 OT 士会の中で配慮が必要な学生への実習指導方法について苦慮しているとの意見が出ている。貴学としてはそういった学生と実習先との連携についてはどのように考えているのか教えて欲しい。

〔辛島学科長より〕

何よりも学校と実習施設と学生が綿密な報告、連絡、相談をすることが一番のベースである。そういった連携を密にすることで、双方の信頼関係を気づくことが原則であると考えます。実習指導者の方には学生の話をよく聴いていただきたい。「なぜ？」ではなく「どのように??」と聴く姿勢で学生と向き合ってもらいたい。

以上